

2022年夏  
発売予定  
A4版・約250p

(第1章～第30章)



ギルバートオサリバン  
世界初の単行本「ギルバートマニア」

# Gilbert. mania

平見勇雄著

By Isao Hirami

英文要約 平岡裕子

書籍「ギルバートマニア」出版プロジェクト

1967年にデビューして音楽生活今年で55年のキャリアを誇るギルバートオサリバン。類い稀なメロディーメーカーとして現在も休むことなく音楽活動を行っている彼の、これまでリリースした音源の全貌とキャリアを追ったオサリバン初の本です。主に本国イギリスと日本のオサリバンファンが50年に渡り収集したレコード、CDを中心に重要な情報をオールカラー約250ページに詰め込みました。オサリバン自身も未発表写真を提供。海外でのみリリースされた音源や未発表音源、オサリバンが最も活躍した70年代当時のコンサートの模様や、日本での楽屋裏、カバー曲の特集、日本公演の様子、等、オールラウンドに掲載しています。今年7月にリリース予定のオサリバン20枚目にあたるニューオリジナルアルバムに合わせて全世界950部を通販限定で販売します(海外のファンのために英語の要約付き)。詳しくはホームページをご覧ください。6月に予約受付開始。

詳細はホームページで。  
ギルバートマニア

<https://gilbertmania.page>





ギルバートマニア

# Gilbert. mania

2022年夏 発売予定A4版・約250p

目次

はじめのご挨拶

1 不遇の時代

Column 1 「ホワットキャンアイドゥ/ユー」

2 すべてはここから始まった『HIMSELF』(邦題『オサリバンの肖像』)

Column 2 「Alone again」の歌詞の内容をご存知ですか?

3 世界的スターとなった年にリリースされたオサリバンの代表作『BACK TO FRONT』(邦題『アローンアゲイン』)

Column 3 「クレア」について

4 新しい挑戦と全盛期の勢いが感じられる『I'M A WRITER NOT A FIGHTER』(邦題『一本のペンがあれば』)

Column 4 オサリバンのBBCラジオ放送全音源

5 初のアメリカでのレコーディング『A STRANGER IN MY OWN BACKYARD』(邦題『彷徨とぬくもりと』)

Column 5 フォトギャラリー

6 1975 シングルのみの年

7 1976年のオサリバン『GILBERT O'SULLIVAN GREATEST HITS』(邦題『グレイテストヒット』)

8 1977~78年『SOUTHPAW』(邦題『サウスポー』)

Column 6 東芝EMI時代の日本のファンクラブについて

9 初めて全曲を同一のバンドでレコーディング『OFF CENTRE』(邦題『プライベートタイムズ』)

Column 7 フォトギャラリー

10 当時日本でリリースされなかったアルバム『LIFE & RHYMES』

11 1980年代のベストアルバム『アローンアゲイン』『アナザーサイド』

12 活動再開と受け取られたアルバム『FROBISHER DRIVE』と『IN THE KEY OF G』(邦題『インザキーオブG』)

Column 8 世界初のCD化の『オリジナルコレクション1971-1977』

13 『SOUNDS OF THE LOOP』(邦題『あの日の僕をさがして』)そして初来日

14 『RARE TRACKS』、ベストアルバム『TOMORROW TODAY』そして『LIVE IN JAPAN'93』

15 『THE LITTLE ALBUM』(イギリス盤タイトルは『BY LARRY』)

16 『EVERY SONG HAS ITS PLAY』(邦題『エブリソングハズイツプレイ』)

Column 9 『アローンアゲイン・ギルバートオサリバン・スーパーベスト』

17 日本盤とイギリス盤では顕著な違いのあるロックオリエントッドな『SINGER SOWING MACHINE』(邦題『シンガーソーイングマシーン』)

Column 10 「MAM」について

18 『THE GREATEST HITS』と『LOVE SONGS』

19 打ち込みやサンプリングが行われている異色のアルバム『IRLISH』(邦題『アイルリッシュ』)

20 『THE BEST OF GILBERT O'SULLIVAN』と『TWIN BEST』

21 2000年代の名作『PIANO FOREPLAY』(邦題『ピアノフォアプレイ』)

Column 11 『CARICATURE THE BOX』『THE BERRY VEST OF GILBERT O'SULLIVAN』

22 シングルのB面を集めた『THE OTHER SIDE OF GILBERT O'SULLIVAN』(邦題『アザーサイドオブギルバートオサリバン』)

Column 12 2枚目のライブアルバム『Live at Duo Exchange』

23 これまでのキャリアを網羅した『BEST HITS & RARITIES』(邦題『ベストヒッツ&レアリティーズ』)

Column 13 カバー曲 カバーアルバム

24 素朴なレコーディングに挑んだ『A SCRUFF AT HEART』(邦題『スクラッフアットハート』)

Column 14 楽屋裏(1)と金沢コンサート

25 素晴らしい名曲の入ったアルバム『GILBERTVILLE』(邦題『ギルバートヴィル』)

Column 15 楽屋裏(2)来生たかおさん

26 『THE ULTIMATE COLLECTION』(邦題『アルティメイト・コレクション』)

Column 16 楽譜集

27 近年のライブで演奏される曲を配した『G.O.THE ESSENTIAL COLLECTION』

Column 17 楽屋裏(3)杉真理さん

28 ベギーリーのアルバムへのリスペクトを表した『Latin Ala G』(邦題『ラテンアラG』)

Column 18 『ラテンアラG』時の海外のライブ

29 70年代以降で最も成功したアルバム『GILBERT O'SULLIVAN』(邦題『ギルバートオサリバン』)

Column 19 日本公演セットリスト

30 NEW ALBUM 最新アルバム『Driven』

Column 20 参考文献

おわりのご挨拶

A 最もプレス枚数が少ないシングル

B 仕上がったばかりのアルバム『The Little Album』の  
プロモーション用に1985年制作されたカセットテープ

C アローンアゲインの制作途中の当時の歌詞

D 『彷徨とぬくもりと』の非売品インタビューレコード初の全訳

E 楽屋内のレポートも多数掲載

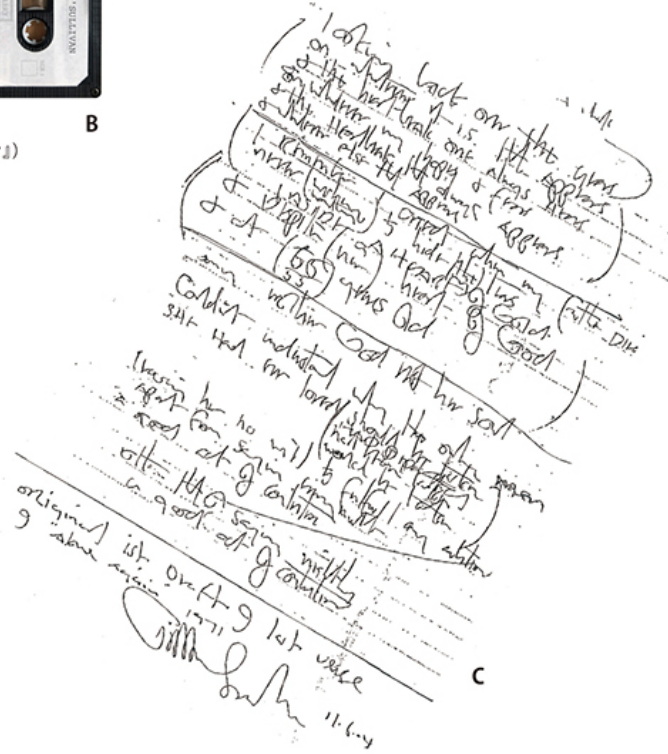
F 日本で最初に出たオサリバンのレコード『What can I do / You』



A



B



C



D



E



F